

平成29年度 第3回美浜区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

【1】開 催

- 1 日 時：平成30年3月14日（水）午後3時00分～午後4時30分
- 2 会 場：美浜保健福祉センター 4階 大会議室
- 3 出席者：委員定数 22名
出席委員 17名
事務局 12名
(傍聴人) 0名

【2】次 第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 議 題
 - (1) 美浜区支え合いのまち推進計画（第3期美浜区地域福祉計画）の総括について
 - (2) 美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）について
 - (3) 美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）の推進について
- 4 報 告
 - (1) 支え合いのまち千葉 推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）について
- 5 その他
 - (1) 委員改選について
- 6 閉 会

【3】議事の要旨及び発言要旨

3 議 題

- (1) 美浜区支え合いのまち推進計画（第3期美浜区地域福祉計画）の総括について
 - 資料1「美浜区支え合いのまち推進計画の推進状況（平成29年度）」により、事務局【社会福祉協議会美浜区事務所】が説明後、質疑応答を行った。
 - 美浜区支え合いのまち推進計画（第3期美浜区地域福祉計画）について、各地区部会エリアの重点取組項目の平成29年度の目標・実績、達成状況、3年間の総括・振り返り、及び美浜区全体としての主な成果、第3期計画の総括・今後の課題を説明した。

<主な説明内容>

- ア 1枚目は、全地区部会エリアを取りまとめた資料であり、2枚目以降は、平成29年度の各地区部会エリアの重点取組項目の報告、3年間の振り返りを、稲毛海岸地区部会エリアから始まり、打瀬地区部会エリアまで掲載している。千葉市内の全地区部会エリアの共通の書式となっている。
- イ 地区部会エリアごとの29年度の実績と3年間の振り返りであるが、資料の作りとしては、1番左の欄に「地区部会エリアの名称」、平成29年4月1日現在の「人

口・世帯数」「町内自治会数」「高齢化率」「地域の特徴」について記載している。

その右は、地区部会エリアの重点取組項目を記載し、その右の取組テーマと書かれた欄の数字は、表の真ん中の上部に、千葉市全体の計画である「支え合いのまち千葉 推進計画」で示している9つの取組テーマについて記載があるが、それぞれの重点取組項目が取組テーマのどれにあたるか、該当する数字を記載している。

その右は「29年度の目標」、その右が「29年度の実績」である。その右の「達成状況」は、地区部会エリアごとに29年度の実績がどうであったかを、表の右上に記載がある“達成状況の目安”による自己評価の欄となっている。1番右の欄が「3年間の総括・振り返り」となっている。

ウ 稲毛海岸地区部会エリア

(ア) 重点取組項目：“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築

- ・市計画での取組テーマ：5
- ・29年度の目標：・稲毛団地自治会で取り組まれている「見守りネットワーク」（安心カード、ゴミ出し支援、見守り活動、たすけあい活動）を他地域にも構築する。
- ・29年度の実績：①地区部会エリア内のマンションや団地において、町内会費の徴収等で各戸を訪問する際に自然なかたちで見守りネットワークの構築されている状況を確認できた。②稲毛海岸3丁目団地自治会において「稲三サポートの会」が立ちあがった。
- ・達成状況：S

(イ) 3年間の振り返り：①地区部会エリアのマンションや団地において町内会費の徴収時などに自然な形で見守り活動が行われている。②稲毛団地での取組みがきっかけとなり、稲毛海岸3丁目団地自治会のたすけあい活動がスタートする運びとなった。③新興マンション及び住宅地から地域活動に積極的に参加する住民が増えつつある。

エ 幸町2丁目地区部会エリア

(ア) 重点取組項目は2項目

(イ) 重点取組項目：一つ目は、“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築

- ・市計画での取組テーマ：5
- ・29年度の目標：①地域資源を活用した高齢者向け講座の開催、②地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み
- ・29年度の実績：①「幸町2丁目のまちづくり・生活支援等に関するアンケート」結果をもとに、UR都市機構の支援により、幸町中央診療所に階段昇降機が配置された。②URコミュニティや地区部会の主催する高齢者向けの講座を開催した。③地域で生じた問題について、幸町2丁目連携会議出席メンバー間の連携により対応することができた。
- ・達成状況：A

(ウ) 重点取組項目：二つ目は、町内自治会・集合住宅の集会所など地域資源を活用

した交流の場づくり

- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：・活動拠点の確保
- ・29年度の実績：①千葉市との交渉により、「幸町老人センター」の使用が3年間延期された。②地域内の高齢者福祉施設内、地域交流スペースにオープンした地域カフェが、地域の交流の場として活用されている。
- ・達成状況：S

(エ)「3年間の総括・振り返り」：①幸町2丁目連携会議を通じて、様々な団体や機関と地域生活課題の共有と情報交換を進めることができた。②UR コミュニティ千葉住まいセンター等の協力により「高齢者の暮らし安心支援ガイド<千葉幸町団地版>」、あんしんケアセンター幸町等との協力により「高齢者の暮らし安心サポートガイド<幸町団地15街区版>」が完成した。③地域カフェが地域の交流の場として定着し、新たな住民同士の繋がりを生んでいる。④住民に解りやすく広報するため、「美浜区支え合いのまち推進計画」と「幸町2丁目安心居住プラン」の整合を図り、取組項目を設定することができた。

オ 幸町一丁目地区部会エリア

(ア) 重点項目は2項目。

(イ) 重点取組項目：一つ目は、空き店舗フリースペースの確保と管理運営体制の検討

- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：地域カフェ（コミュニティカフェ）の運営
- ・29年度の実績：「幸町1丁目ふれあい交流館」において、地域カフェ（ふれあいサロン）、COCO（小中学生の放課後の居場所づくり）、ふれあいいきいきサロン（ひだまり）等、地域の交流の場として活用されている。
- ・達成状況：A

(ウ) 重点取組項目：二つ目は、地域での助け合い活動の推進

- ・市計画での取組みテーマ：4
- ・29年度の目標：①研究会の開催（ニーズの発掘・検討・担い手の確保）、②地域包括ケアシステム構築に向けた3分科会設立
- ・29年度の実績：・1月、2月、3月に医療介護研究会を開催した。1月は前部会長による、要支援2の実体験。2月は幸町薬局の薬剤師による、薬と調剤薬局の役割。3月はあんしんケアセンター幸町職員による講座。
- ・達成状況：A

(エ) 3年間の総括・振り返り：①「幸町1丁目ふれあい交流館」を活用し、地域生活課題に対応した様々な事業が開催された。②平成27年（26年度）1月より、施設型によるふれあい食事サービスが再開された。③医療介護研究会の開催を通じて、地域包括ケアシステム構築に向けた学習が進んだ。

カ 高洲・高浜地区部会エリア

(ア) 重点項目は3項目。

(イ) 重点取組項目：一つ目は、顔の見えるご近所づきあいの構築

- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：異世代交流の拡大
- ・29年度の実績：「こどもフェスタ」（年2回 7・2月）、「ネイチャーゲーム」（年1回 10月）を開催。地域の高齢者に参加を呼びかけ、昔遊び等を通して、児童と高齢者の交流が図れた。
- ・達成状況：B
- ・重点取組項目：二つ目は、“みんなで” 支え合う「あんしん支え合いネット」の構築
- ・市計画での取組みテーマ：5
- ・29年度の目標：①認知症講座の開催、②地域資源を活用した高齢者向け講座の開催
- ・29年度の実績：・高洲第三小学校避難所運営委員会委員長を講師として、「防災講習会」を開催（36人参加）、高洲コミュニティセンターとあんしんケアセンター高洲との共催により「認知症講座」を開催（99人参加）、高洲コミュニティセンターとの共催により、「ボッチャ体験講座」を10月に開催した（41人参加）。
- ・達成状況：A

(ウ) 重点取組項目：三つ目は、町内自治会・集合住宅の集会所など地域資源を活用した交流の場づくり

- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：①サロン活動の充実、②拠点の確保
- ・29年度の実績：千葉市社協美浜区事務所と共催で、サロン開催に向けたボランティア講座を開催し、平成29年度から、高浜公民館を拠点にしたいきいきサロンを設置した。
- ・達成状況：A
- ・3年間の総括・振り返り：①高浜公民館等、12ヶ所のサロンが開設できた。
②地域資源（機関・人材）を活用した高齢者向け講座を企画・開催できた。

キ 真砂地区部会エリア

(ア) 重点取組項目は8項目。時間の都合により3項目の報告とする。

(イ) 重点取組項目：一つ目は、顔の見えるご近所づきあいの構築

- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：①「手づくり公園まさご」を活用した交流の場の検討、②ラジオ体操やウォーキング活動のPR。
- ・29年度の実績：①手づくり公園まさごにて、「手づくり公園フェスタ」等イベントが開催され、住民同士の交流が図れた。②ラジオ体操は、真砂中央公園で毎日開催され、約30人ほどの地域住民が参加している。
- ・達成状況：A

(ウ) 重点取組項目：二つ目は、地域福祉を推進する団体等の交流やネットワーク作

り

- ・市計画での取組みテーマ：4
- ・29年度の目標：地域運営委員会による各団体の連携強化
- ・29年度の実績：定期的に定例会を開催し、地域の課題検討や情報共有を図った。
- ・達成状況：A
- ・重点取組項目：三つ目は、地域での助け合い活動の推進
- ・市計画での取組みテーマ：4
- ・29年度の目標：「ささえあいまさご」の活動の充実
- ・29年度の実績：依頼件数は2月末現在で773件で前年同月比263件増となった。
- ・達成状況：A

(エ) 3年間の総括・振り返り：①地域運営委員会が設置され、地域の各団体間の課題共有、情報交換が進んだ。②ささえあいまさごの依頼件数が年々増加し、福祉課題が顕在化するとともに、活動拠点や担い手の確保等、安定した運営基盤の構築が課題となっている。

ク 磯辺地区部会エリア

(ア) 重点取組項目は4項目

(イ) 重点取組項目：一つ目は、“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築

- ・市計画での取組みテーマ：5
- ・29年度の目標：福祉協力員ネットワーク活動の進化と拡充を図る。
- ・29年度の実績：協力員及び見守り希望者とも微減となっているため、今後のあり方について、検討・協議を進めた。
- ・達成状況：B
- ・重点取組項目：二つ目は、地域ぐるみの防災訓練、避難誘導の実施
- ・市計画での取組みテーマ：7
- ・29年度の目標：①避難所運営委員会の設置、②地域ぐるみの防災訓練の実施
- ・29年度の実績：①新たに磯辺スポーツセンターの避難所運営委員会が設置された。②九都県市合同防災訓練では、磯辺中学校を重点訓練会場として避難所開設訓練が行われた。
- ・達成状況：A

(ウ) 重点取組項目：三つ目は、災害発生時の対応マニュアル整備

- ・市計画での取組みテーマ：7
- ・29年度の目標：避難所運営委員会での災害対応マニュアルの作成
- ・29年度の実績：各避難所運営委員会単位でマニュアルを作成した。
- ・達成状況：A
- ・重点取組項目：四つ目は、町内自治会・集合住宅の集会所など地域資源を活用した交流の場づくり

- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：自治会集会所を活用したサロンの開催
- ・29年度の実績：新たに、検見川ハイツ集会所、海浜コートビレジ集会所、磯辺第一団地集会所を拠点にサロンを開設した。
- ・達成状況：A

(エ) 3年間の総括・振り返り：①地域運営委員会が設置され、地域の各団体間の課題共有、情報交換が進んだ。②3年間で3ヶ所のサロンが新規に開設された。③地域での支え合い活動の実施に向けた準備を進め、平成30年度より7自治会でスタートすることとなった。

ケ 幕張西地区部会エリア

(ア) 重点取組項目は2項目

(イ) 重点取組項目：一つ目は、“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築

- ・市計画での取組みテーマ：5
- ・29年度の目標：見守り活動の実施
- ・29年度の実績：2町内自治会で説明会を開催し、うち1町内自治会で実施することとなった。
- ・達成状況：A
- ・重点取組項目：二つ目は、町内自治会・集合住宅の集会所など地域資源を活用した交流の場づくり
- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：子育てサロン、いきいきサロン等の実施
- ・29年度の実績：①幕張西町内会館でいきいきサロンを開催した（参加者約16人/月）、②幕張西公民館で子育てサロンを開催した（参加者約40人/月）。
- ・達成状況：B
- ・3年間の総括・振り返り：①地域運営委員会が設置され、地域の各団体間の課題共有、情報交換が進んだ。②自治会を中心とした見守り活動実施に向け検討を重ね、15町内自治会中10町内自治会でスタートした。

コ 打瀬地区部会エリア

(ア) 重点取組項目は11項目。時間の都合により3項目の報告とする。

(イ) 重点取組項目：一つ目は、“みんなで”支え合う「あんしん支え合いネット」の構築

- ・市計画での取組みテーマ：5
- ・29年度の目標：①高齢者実態調査時の安心カードの啓発、普及、②町内自治会への地域活動及び諸制度の理解及び利用促進
- ・29年度の実績：・新たに57人の方が、安心カードの登録を行った（前年度は22人）。②地区部会長と地区民児協会会長が見守り活動の推進や避難行動要援護者名簿の利用促進のため、18か所の街区代表者へ訪問を実施した。
- ・達成状況：A

(ウ) 重点取組項目：二つ目は、町内自治会・集合住宅の集会所など地域資源を活用した交流の場づくり

- ・市計画での取組みテーマ：1
- ・29年度の目標：交流の場づくりの拡充及び検討
- ・29年度の実績：地域連携センターを会場に手芸サロンを開設した。
- ・達成状況：A

(エ) 重点取組項目：三つ目は、支え合い意識の醸成

- ・市計画での取組みテーマ：8
- ・29年度の目標：福祉教育に関する勉強会の支援
- ・29年度の実績：小学校の昔遊びや中学校のEX講座など、積極的に支援を行った。
- ・達成状況：A

(オ) 3年間の総括・振り返り：①地域運営委員会が設置され、地域の各団体間の課題共有、情報交換が進んだ。②安心カードの啓発・普及により、登録者が399人となった。③地域でのサロン活動が活発に行われ、交流の場が増えた。

サ 「取組みテーマ別達成状況」と書かれた表は、8つの地区部会エリアごとの達成状況をまとめた表となっている。

(ア) 主な成果として2点。

- ・地域資源を活用した居場所・交流の場づくりが進んだ。
- ・先進事例を参考に、たすけあい活動や見守り活動の取組みが進んだ。

(イ) 第3期の総括・今後の課題は、

- ・地域生活課題の解決に向け、地域資源、社会資源の活用や専門機関と連携した取組みが進んだ。
- ・他区より設置が進む地域運営委員会との連携を深め、地域生活課題に関する情報共有を図り、担い手確保や協働事業などに取り組む必要がある。

シ 以上であるが、追加訂正などがあれば、ご教示いただきたい。千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会に、第3期美浜区地域福祉計画のまとめとし、報告させていただく。

<質疑応答・発言内容>

(委員長) ただ今の説明について意見はありますか。

(委員) [発言無し]

(委員長) 意見が無いようなので、次に進みます。

(2) 美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）について

- 資料2「美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）(案)」により、事務局【美浜区高齢障害支援課】が説明後、質疑応答を行った。
- 美浜区支え合いのまち推進計画（第4期美浜区地域福祉計画）については、第2回会議（平成29年9月21日）において承認を得ているが、その後に設定された「取組みテーマ」の分類について説明し、併せて「市民説明会」「パブリックコメント」

の結果について報告した。

<主な説明内容>

ア 「取組みテーマ」について

資料2の7頁の表の下の※印の行のとおり、「支え合いのまち千葉 推進計画」（市計画）では、共助の取組みを10のテーマに分類することとした。

①見守りの仕組みづくり、②高齢者を支える仕組みづくり、以下、③から⑩のとおりであるが、第3期計画とは異なる観点からテーマが設定された。

その「取組みテーマ」番号の美浜区計画への当てはめは、2頁を例にご説明すると、「3 取組内容一覧」の表の右端に「取組みテーマ」という項目があるが、前回会議ではここが空欄であったが、今回、新たに設定された「取組みテーマ」に基づき、対応するテーマの番号を記載している。3頁以降も同様である。

イ 計画（案）の市民説明会について

昨年10月21日に、美浜保健福祉センター4階大会議室で「市民説明会」を開催した。

説明会では、事務局より計画（案）の内容を説明し、その後、質疑応答を行った。参加者から“「地域包括ケアシステム」を補完するために、地域の助け合いを推進していくという理解でよいのか”という発言があり、「おっしゃるとおり、地域包括ケアシステムの一環を構成するのが、地域の助け合い（共助）です」と回答した。

ウ 計画（案）の「パブリックコメント」について

昨年の12月19日から今年の1月19日にかけて実施したが、美浜区の計画（案）に対する意見はなかったため、「パブリックコメント」に基づく計画（案）の修正はない。

<質疑応答・発言内容>

（委員長）ただ今の説明について、皆さんお分かりいただけましたか。

（委員）分からない。

（事務局）資料2は、前回の9月の会議において承認していただいた計画の内容ですが・・・【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

（委員）資料のどこを説明しているか分からない。

（事務局）もう一度説明すると、7頁の下の※印のところに、10の取組みテーマを記載している・・・【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

（委員）こういうふうに、いろいろ分けると頭が混乱する。市計画があり、区計画があり、それぞれ表現が違う括りをすると分からなくなる。

（事務局）ただ今説明が分かりにくいというご指摘を頂戴しました。この計画（案）は、前回9月の会議で内容については、各委員にご審議いただき承認をいただいたところです。したがって、今日は時間の関係もあり、計画の中身にはあえて触れずに割愛をさせていただきました。説明したのは、前回会議の資料と変わった点です。そこだけを説明しました。

それで、区の計画があり、市の計画があって、それぞれテーマ番号を設定し、その繋がりを付けていますが、確かに計画の作りが非常に難しく、複雑になって

しまっています。

今日説明したのは、市計画として□1～□10の分類テーマを前回会議後に定めて、これを前回会議で承認いただいた区の計画のそれぞれの項目に当てはめ、どの番号に当たるのか、表の中に落とし込んだということです。

少々分かりにくかった点は、大変申し訳ありませんでした【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(委員) であるならば、□1～□10というものの説明をもっと大きな字にして、前の方に出てくるのではないですか。今説明があったから分かりましたが、一番最後に行かないと分からない。ここでいいのですか。

(事務局) おっしゃるとおり、表を見たときに「取組みテーマ」の項目があり、数字が書いてあるのに何の説明もない。ずーと見ていくと一番末尾に※で説明が付いている【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(委員) 最後まで読んでくださいと言うことですか。

(事務局) おっしゃるとおり「何だろう、何だろう」と疑問符が湧きながら、ずっと読んで行って、最後まで来たら「こういうことだったのか」ということですね。注記の位置を変えるのはそうですね・・・【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(委員長) 9月の会議の時にこれです承を得ていますが・・・。

(事務局) 市計画の話をさせていただきますが、おっしゃるとおり、区の計画の最後に「取組みテーマ」の説明が出てきますが、区の計画がメインであり、「取組みテーマ」は後から整理した索引のようなものになっています。第3期計画と同じ作りで、変えていることはありません。

「取組みテーマ」の□1～□10というのは、資料4-2の市計画の概要版の3枚目にあります「地域福祉推進の10の取組みテーマ」のことです。

市の計画、区の計画、それから社協の計画がありますが、それぞれ重なり合わせる所を「取組みテーマ」という切り口で整理しているということですので、ご理解をいただきたいところです【保健福祉局地域福祉課】。

(委員長) ご了解いただきたいということです。よろしいですね。

(委員) ちょっと一ついいですか。先週「ことぶき大学校」の運営委員会に出席したのですが、3月22日に卒業式、4月5日に平成30年度の入学式があります。大学校から知らされて唖然としたのですが、かつてあれだけ人気のあった「ことぶき大学校」の4学科、7学級、210人の定員のところ、入学者が129人。相当ひどい定員割れになっています。

それで、4学科の中には美術・陶芸・園芸の他に、健康福祉があります。その健康福祉の方を「ことぶき大学校」から紹介してもらい、地域福祉の担い手にお願いするというような連携や、逆に、地域福祉の担い手になったのだけれども、具体的にもっと勉強したいという人に、「ことぶき大学校」に福祉コースがあるから行ってみませんかと案内することも考えられたらいかがですかと考えます。

千葉市は多くの予算を割いて「ことぶき大学校」の運営をしています。ぜひ活用してほしいと思います。

(委員長) ご意見でよろしいですね。ありがとうございます。

(事務局) 「ことぶき大学校」の生徒さんには、2～3年前から、社会福祉協議会の地区部会の「いきいきサロン」ですとか、「子育てサロン」の方に、“体験”ということと来ていただいています。今年度は全部で10名程度の方を受け入れさせていただき、中には、そのまま地区部会活動に繋がった方もいらっしゃいますので、今後も「ことぶき大学校」とは連携を取っていきたいと考えております【社会福祉協議会美浜区事務所】。

(委員長) それでは、議題の(3)に進みたいと思います。

(3) 美浜区支え合いのまち推進計画(第4期美浜区地域福祉計画)の推進について

○資料3「美浜区支え合いのまち推進計画 第4期計画〔重点取組項目一覧〕及び管理票(案)」により、事務局【社会福祉協議会美浜区事務所】が説明後、質疑応答を行った。

○美浜区支え合いのまち推進計画(第4期美浜区地域福祉計画)の重点取組項目については、数値目標を設定し、管理票により進行管理を行うことを説明した。

<主な説明内容>

ア 資料3は、前回会議で提示した第4期計画〔計画期間：平成30～32年度〕の各地区部会エリアごとに選んでいただいた重点取組項目の一覧である。

「Ⅱ 誰もが暮らしやすい環境づくり」の「9 地域包括ケア体制の推進」の(18)については、前回会議では「認知症高齢者等のケア体制の整備」としていたが、「認知症高齢者という文言はどうなのか」とのご指摘いただき、「要支援・要介護高齢者のケア体制の整備」に変更している。

イ 資料3-1は、第4期計画の重点取組項目を進めていく上での管理票であり、「地区部会エリア名」、「基本方針」、「施策の方向性」、「重点取組項目」、「具体的な取組内容」、「新規」か「継続」かの「区分」、その横に市計画の「取組テーマ」の番号を記載している。稲毛海岸地区部会エリアの「(1)顔の見える近所づきあいの構築」を例として記入しているが、市計画で設定した10の取組テーマの中の「2 高齢者を支える仕組みづくり」、「3 障害者を支える仕組みづくり」、「4 こどもと子育てを支える仕組みづくり」、「9 地域のつながりづくり」の4つが該当するということである。その下に「活動主体」として“地区部会”、「支援団体・協力団体」として“スポーツ振興会、青少年育成委員会”を記載している。

そして、その下に、平成29年度の「現状」と「課題」を記載し、その下に3年後の「到達目標」を記載する。

その下の欄には、これからの作業となるが、事務局が各地区部会エリアに行くので、推進協議会のメンバーを中心に、3年間どのような段取りで進めていくかご検討いただき、その段取りに基づき、平成30年度はここまで、平成31年度はここまで、平成32年度はここまでという流れを作りたいと考えている。

そして、各年度が終わった後に実績を確認し、併せて自己評価をする。第3期計画では評価が付けづらいという意見もあったので、設定できるものであれば、数値

目標、例えば、サロンを平成30年度は2か所設置、31年度は2か所プラスするなど、数字で設定できるものであれば、相談の上、この管理票に記載し、各年度の終わりに推進協議会で報告し、確認していただく。

<質疑応答・発言内容>

(委員長) ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

(委員) [発言無し]

(委員長) よろしいですか。では、「3 議題」の(1)から(3)については、各委員に了承していただいたということで、次の「4 報告」に進みます。

4 報告

(1) 支え合いのまち千葉 推進計画(第4期千葉市地域福祉計画)について

○資料4-1「支え合いのまち千葉 推進計画(第4期千葉市地域福祉計画)及び資料4-2「計画の概要版(案)」により、事務局【保健福祉局地域福祉課】が説明後、質疑応答を行った。

○第4期計画策定の経緯と今後の予定や第4期計画のポイント等を説明した。

<主な説明内容>

ア 第4期計画策定の経緯と今後の予定

平成29年3月: 策定方針・骨子案に基づく計画策定作業開始

7月: 第1回千葉市社会福祉協議会地域福祉専門分科会

9月: 区計画案決定

10~11月: 市民説明会開催

11月: 第2回千葉市社会福祉協議会地域福祉専門分科会

12月~30年1月: パブリックコメント手続(意見に基づく計画内容の変更なし)

3月29日: 第3回千葉市社会福祉協議会地域福祉専門分科会

5~6月: 計画冊子の配布

イ 第4期計画のポイント

- ・第3期計画と同様、社会福祉協議会各区事務所の支援のもと、各地区部会や地域運営委員会、町内自治会と連携を図りながら、計画を推進していく。
- ・市計画の重点施策として「コミュニティソーシャルワーク機能の強化」を掲げている。個別の課題解決を通して地域に働きかける役割を担うコミュニティソーシャルワーカーは、平成23年度から社会福祉協議会各区事務所に1名配置しているが、今後増員し、地域生活課題を解決する地域の基盤強化の支援を図る。

ウ 計画の概要版

- ・第4期計画では、内容をコンパクトにまとめた概要版(資料4-2))を作成し、配布し、周知していきたい。

<質疑応答・発言内容>

(委員長) ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

(委員) 財政状況から市社会福祉協議会の補助金が減額されることが決まったという連絡があり、その後いろいろと検討を経て、平成30年度は従来どおりというこ

ととなったようですが、地域福祉計画の各取組みを行うには予算があることがベースなのです。いろいろ活動をしていって、市の補助金が減額となるから活動資金も減額します、と頭から来られると何ですかという話になるのです。そういうことが無いように。これから平成31年度に向けて補助金のあり方についてヒアリングをされるようですが、そういうことをよく考えて……。計画をいくら作ったって実際動かすには、予算が付いているかどうかによると思うのです。十分ご配慮いただきたい。

(委員長) ご意見ということでよろしいですね。予算を減らすことの無いようにとのご意見ですが、お答えありますか。

(事務局) 市の補助金のことで、地域の皆様に非常にご迷惑を掛けたということで、申し訳なく思います。今年度、社会福祉協議会で補助金を再度検討されるということなので、地域の皆様のご意見をいただきながら、検討を進めていただけたらと思っております【保健福祉局地域福祉課】。

(委員長) 他にありますか。無いようですので、次の「5 その他(1) 委員の改選」についてご説明願います。

5 その他

(1) 委員改選について

○美浜区支え合いのまち推進協議会の委員の任期2年(平成28～29年度)が終了することに伴い、事務局【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】が各所属団体への新委員の就任依頼等を説明し、質疑応答を行った。

<主な説明内容>

ア 各所属団体への委員就任依頼

今年度末で任期満了となるため、近日中に、各所属団体宛てに新委員推薦の依頼を行う。公募委員は、5月1日号の市政だよりの区版とホームページに、若干名の公募の案内を掲載する予定である。

また、美浜区の「地域包括ケアシステム」の推進や関係機関のネットワークの強化等を図るため、次年度より、「生活支援コーディネーター」1名と「あんしんケアセンター」の管理者の方にも本協議会に参加していただくことを予定している。区内にあんしんケアセンターは4つあるが、2センターずつ、2年間とすることを考えている。

イ 次年度の会議の開催

協議会の開催は2回ないし3回を予定している。1回目の会議は、委員改選があるため、開催は6月下旬を予定している。

2回目以降は、推進計画の進捗状況の報告等が議題となるため、その都度、開催時期を検討していく。

<質疑応答・発言内容>

(委員長) ただ今の説明についてご意見、ご質問はありますか。

あんしんケアセンターが区内に4つありますが、2か所参加してもらおうとの提案がありました。あんしんケアセンターは、それぞれの地域で運営しているので、

どうして4つ参加してもらってはいけないのでしょうか。あんしんケアセンターの圏域内の地域で抱えている課題は異なる。できれば4センター全部に参加してもらった方がいいのではないのでしょうか。

(事務局) 会議の運営上と申しますか、委員の数があまり多過ぎても、ともすると議論がしにくいところもあるのではないかと考えまして、4か所あるうちの2か所に2年間、次の2年は残りの2か所に、ローテーションで参加してもらおうと考え、本日提案した次第です【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(委員長) ということだそうです。できたら4センター参加の方がよいと思ったのですが、ご検討をお願いしたいと思います。他にご意見などありますか。生活支援コーディネーターも参加するとのことですが、生活支援コーディネーターは、美浜区は何人ですか。

(事務局) 1団体に委託し、2人いますが、そのうち1人に参加していただくことを考えています【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(副委員長) あんしんケアセンターですが、委員長が言うように、その地区その地区にいろいろな問題があるのです。美浜区がそう決めたのですか。市全体なのですか。

(事務局) 市全体の決定ということではなく、各区の考えでそれぞれ決めているものです【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(副委員長) 区独自ということであれば、4人でもよろしいのですね。

(事務局) それは可能です【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(副委員長) なぜかといいますと、地区・地域において実情がいろいろと違うのですよ。

そうすると、私の地区にはそういう話がなかったとかあるので。「支え合いのまち」ということなので、やはり公平にさせていただければありがたいと思います。

(委員) そうですよ。地域の状況に応じて、事業を推進していくことなのですから。

(委員長) 地域の取組み状況も違うし、住んでいる方も違う中、いろいろな問題に取り組んでいる公的機関なのですから、4センターしかないのですから、できたら全センターに参加していただければと思います。生活支援コーディネーターは、ぴんと来ない部分がありますが、あんしんケアセンターは地元に着していますから、ぜひよろしくをお願いします。

(事務局) ただ今、委員長・副委員長から貴重なご意見をいただきました。他の委員の方も大方ご賛同のようです。来週あんしんケアセンターとの連絡会議を持つ機会がありますので、当初の案を変更し、4センター全部参加していただけるか打診してみたいと思います。ご意見ありがとうございました【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(委員長) 各あんしんケアセンターは業務が大変なので、センターの負担にならないようにしないと・・・。

(事務局) そのことも勘案した上で、あんしんケアセンターの意向も確認し、検討していきたいと思います【美浜保健福祉センター高齢障害支援課】。

(委員長) よろしくをお願いします。その他、他にありますか。

(2) その他

- 「地域福祉シンポジウム」と「美浜区ボランティア入門講座・ばりあふりー講座」について、事務局【社会福祉協議会美浜区事務所】が説明した。

<主な説明内容>

ア 地域福祉シンポジウム

3月19日(月)13:30から、千葉市社会福祉協議会主催で、千葉市市民会館小ホールで開催する。事例発表は、緑区大椎台で行われている高齢者施設のバスを利用した買い物支援の取組みである。

イ 美浜区ボランティア入門講座・ばりあふりー講座

千葉市社会福祉協議会美浜区事務所主催で、美浜保健福祉センター4階大会議室で開催する。3月19日(月)に「ボッチャ体験」、3月23日(金)に「障害者と一緒に街歩きの体験」を行う。

<質疑応答・発言内容>

(委員長) 3月19日と3月23日に、それぞれ講座があるようですので、よろしくのことです。

他に何かありますか。無いようでしたら、これからの進行は事務局にお返しいたします。

(事務局) 本日の会議録は、事務局が作成し、委員長・副委員長に確認いただいた後、議事要旨をホームページで公開します。また、次回の会議は、6月下旬を予定しています。日時が決まり次第、各委員に連絡いたします。

【4】閉 会